

## 非侵襲的オステオパシー「アンロック・メルト (Unlock Melt)」

日程: ①2026/9/27(日)【全1回】

時間: 10時～16時(終了時刻は延長する場合があります)



講師: 神永叙子 *Ostéopathe D.O.*  
JOMACO (JOMA 認定オステオパス)

スティル博士が述べた「身体はひとつのユニットである」、「構造は機能を支配する」というオステオパシー哲学を実践する為、従来の枠に囚われず、解剖学・生理学に、生体力学・構造・生体軸をリンクさせた「非侵襲的アプローチ法」を研究し、実践しています。

本来持つ治癒力を、最も引き出せる身体環境へと導くことを理念とし、スティル博士が大切にされた「体液のルール」を重視し、液体の流れを改善するアプローチ法も研究しています。また頭蓋オステオパシーによる「脳」への効果を実感し、認知神経学を学び「脳」へ及ぼす影響を検証しています。

高齢者、妊婦さん、赤ちゃんから小児まで幅広く、オステオパシーを実践。

身体の声に耳を傾けて「身体関連性を読み解く」オステオパシーアプローチを研究しています。

### ■「非侵襲的オステオパシー」とは

「非侵襲的」(non-invasive)とは身体を傷つけずに行う検査や治療を指す医学用語で、身体に負担をかけずに検査や治療を行う方法です。こういった意味合いから名付けた「非侵襲的オステオパシー」は身体の部位同士の機能的・構造的なつながりを重視することで、強い力を使わずに身体の生理的機能が回復しやすい状態に導いていく、安全で効果が高い神永式オステオパシー技術として考案しています。

### ■「非侵襲的オステオパシー」の特徴

「どうしたら問題をみつけられるのか?」「何故その問題は起きているのか?」「どうしたら施術効果を持続させることができるのか?」「どういう調整法が、身体に優しく安全で効果が高いのか?」を考え試行錯誤してきました。オステオパシー哲学である「身体は1つのユニットである」「構造は機能を支配する」を実現するにはどうしたらいいのかを日々考え、リーディング法と調整法を作り上げてきました。身体のリーディング法を模索するうちに、**身体に存在する法則**を幾つもみつけたことにより、より**安全性を高めた調整法**になりました。

「非侵襲的オステオパシー」は、問題の部位だけにフォーカスするのではなく、**問題部位を身体全体から相対的にみる**ことで、何故問題が起きているのかを判断しやすくなります。それにより矯正を効果的に行なえます。また**内部から力学を考慮して修正**することで**構造を動かします**。これは身体の生理に沿っているため優しい力で矯正でき、かつ効果が長持ちします。

神永式オステオパシーは優しい力のみで施術するので、女性でも施術しやすいだけでなく、受けている側も心地良く安全性も高いため、刺激に弱い人や子どもや高齢者にも適応できます。

## ■今回は『Unlock Melt (アンロック・メルト)』がテーマ

今回の『Unlock Melt (アンロック・メルト)』とは何か。

「**Unlock**」は「鍵を開ける・制限を解除する」という意味。そして「**Melt**」は「溶かす・固いものを柔らかくする」という意味です。『**Unlock Melt**』というのは、「硬い組織を柔らかくする」という意味の言葉として創りました。

問題が起きている箇所に行ったテクニックはしっかりできているのに、イマイチ身体が楽にならない。色々とテクニックをやったのに、成果がでない。クライアントさんの身体が軽くなならない。こういったことはないですか？しっかりとテクニックをやっているのに、**成果がでない時の大きな要因として、「身体の組織が硬い」ことがあげられます。**硬さがあると、体内の液体循環が上手くいかず、組織が変化しにくいのです。

クライアントさんの身体は、硬くないですか？テクニック後も、硬さは持続していませんか？**どんなに素晴らしいテクニックも、身体が柔らかくなっていないと成果を発揮できません。**今回の『**Unlock Melt**』テクニックでカチカチな硬い組織を緩ませます。それによって、体内の液体がスムーズに流れ、生理的機能が効率的に回復し、あなたのテクニックの効果を高めることができます。

前回 2025 年に行った「非侵襲的オステオパシーセミナー」では、身体全体をみる相対的視点にフォーカスした全身プロトコルテクニックをご紹介しました。今回の『**Unlock Melt (アンロック・メルト)**』は、全身プロトコルテクニックに組み合わせて使うと、より効果的です。非侵襲的オステオパシーテクニックでなくても、患者さんの身体が硬い時にテクニック前に、もしくはテクニック後にイマイチ成果がでていない時に取り入れるのにお勧めです。前回の「非侵襲的オステオパシーセミナー」を受講していなくても大丈夫です。このテクニックだけを学んで使えます。

## ■今回は構造の修正はしません

「非侵襲的オステオパシー」では、外側の筋骨格系の形を「デザイン」と名付け、本来あるべきデザインに修正する方法をご紹介しましたが、今回は「デザイン」の修正はせず、とにかく身体を緩めるということをテーマにしたテクニックになります。日々施術をする中で、身体を緩めることは、矯正テクニックの成果に大きく影響することに気が付きました。今ではこれをやらない日はありません。もっと言ってしまえば、矯正テクニックをしなくても、緩めるだけで改善するケースもあるほどです。今回は1回のみセミナーなので、できるだけシンプルな手順として組み立てました。予定としては「頸部・上肢・下肢・胸郭」を考えています。私は「脳へのアプローチ」が好きでよくやりますが、うっ滞していた脳脊髄液がサーッと排液されると、脳内の圧力が減少し多くの方がスッと眠りにおちます。もしくは瞑想状態のような静かな脳の状態になるのを多く観察しています。上腹部・胸郭は、力学的な圧力が内臓に負担をかけているエリアになります。上腹部・胸郭に『**Unlock Melt**』を行うと圧力が抜け、脳にかかる負担も軽減されるせいか、スッと眠りにおちる人が多いです。つまり、頭部や脳へアプローチするにも、腹部・胸部の圧力を減少させる必要性があることがわかります。

『**Unlock Melt**』は、オステオパシーの経験が浅い方だけではなく、学校で学ぶテクニックとは異なるので、多くのテクニックを学ばれている方にもお勧めです。クライアントさんの身体がカチカチに硬い時には、



4. 参加費 支払い方法は次のように致します。

①一括、分割払いからお選びいただけます。※全6回参加者対象

②会員で前納一括払いの方は割引致します。※全6回参加者対象

**入金は締切日必着**でお願い致します。

※前納一括払いであっても申し込み期限を過ぎての申込みは割引を致しません。

③当日会場にて PayPay でのお支払が可能です。※前納割り対象外

※JOMA 会員、当会セミナー参加経験者のみ対象

④参加費は欠席されてもお返し致しません。

尚、欠席者にはテキストと音声データ(音声が無い場合もございます)をお送り致します。

※価格はすべて税込です

	支払料金	備考	振込期限	支払方法
JOMA会員	¥11,000	早割価格	9月11日(金)	一括振込
	¥14,300	通常価格	9月18日(金)	振込 / BASE
一般	¥20,500	通常価格	9月18日(金)	振込 / BASE

#### キャンセルについて

お申込みセミナーをキャンセルされる場合は、メールまたはFAXにて必ずご連絡ください。

ご連絡のタイミングで返金額が変わりますのでご注意願います。

ご入金済の場合はキャンセル料と振込手数料を差し引いた金額をご返金致します。

～キャンセル料～

- ・セミナー7日以前…¥0
- ・セミナー7日前(開催1週間前の同じ曜日)～2日前…セミナー料の10%
- ・セミナー前日…セミナー料の50%
- ・セミナー当日…セミナー料全額

ご連絡が無い場合での欠席につきましては、ご返金の対応はできません。

なお、セミナー料が未納でも上記を基準にキャンセル料が発生し、ご請求いたしますので予めご承諾いただきたくお願い申し上げます。

## PayPay 払いご利用方法

### 【ご利用方法】



PayPay 登録ガイド

<https://paypay.ne.jp/guide/>



## 6. 申込み

受講希望者は下記に必要事項を記入し、**9月16日(水)**までに FAX 又は HP にてお申込み下さい。

HP : <http://www.japan-osteopathy.com/>

**FAX : 03-6661-9436**

## 振込先 ゆうちょ銀行

《ゆうちょ銀行から振込場合》	《他銀行からの振込場合》
記号 : 10050	店名 : 〇〇八 (読み ゼロゼロハチ)
番号 : 77890821	店番 : 008
一般社団法人 SAJ	預金種目 : 普通預金
	口座番号 : 7789082

**早割期限 : 9月11日(金)**

**最終振込期限 : 9月18日(金)**

※分割の方、当日 PayPay でお支払の方は お申込みの際、事前にご連絡下さい

## 7. 注意事項

- カメラ・動画に類する撮影は撮影・持ち込みはできません。 録音は可能です。
- この技術を使用し 万が一事故が生じた場合、当会では一切責任を負いません。
- 参加者は 誓約書にサインしていただきます。

